

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



若葉の香りが風に運ばれ、日差しにも初夏を合感ずる頃となりました。  
皆さん、お変わりなくお元気にお過ごしのことと思います。

今年のG・Wは、コロナに対する規制が少し緩和され、観光地を訪れる人の数が急増しました。

このままコロナ終息!となると嬉しいのですが未だそうはいかないようで残念です。

ステイ・ホームの期間が予想以上に長引いた為、心身ともにストレスを抱えての日々は辛いものがありますが、爽やかな風の下、上手に気分転換を図りましょう!



## 家を建てる段取り (19)

引き続き、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのかを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

### 【入居後の住まいと暮らしを守ろう】

新居が完成すると、それに合わせ家具や家電製品など、何かと新調したくなるものです。

その為に出費がかさんだり、引っ越し前に比べて家が広くなれば、光熱費がかさんだり、ということもあるかもしれません。

入居後も家づくりはまだ完結はしていません。

多くの方は、住宅ローンを組まれていると思います。入居してから数カ月後には返済が始まります。予定通りに返済できるよう家計収支も定期的確認をしましょう。



家計収支と同様に注意をしたいのは、家の点検です。引き渡しの時に住宅会社から渡される、設備機器の取扱説明書には、点検やメンテナンス方法が記載されていますので必要に応じ活用しましょう。

もし、不具合や気になることなどがあれば、見逃さずに対処しましょう。

入居後は、手入れを小まめにする事で、長く、きれいに使い続けることができます。

また、万が一の火災や地震などからも家を守らなければなりませんので保険のことも考えておく必要があります。



住宅ローンを組んでいる場合は、加入内容をしっかり確認しておきましょう。加入していない時は、地震保険とセットで加入するようにしましょう。

できれば、今は地盤の液状化に対応してくれる地盤保証もあるのでよく調べてください。

次号に続く

### 「梅雨入り前の夏支度」

最近ではあまり聞かなくなった衣替えという言葉。それでも本格的な夏を迎える前に、夏支度をしましょう。

寒い間使っていた布団は、梅雨入り前のお手入れがポイントです。布団に吸収された汗などの水分は、放っておくとカビやダニの繁殖、においの原因に。

布団の天日干しは、日差しが強すぎると生地が傷みやすくなるため、この時期に干すなら湿度が低くなる午前10時～午後3時頃がおすすめです。

また、衣類の防虫対策も済ませておきたいもの。外出時などに衣類に産み付けられた卵がクローゼットの中で孵化し、虫食いの被害を受けるケースが多いようです。毛や絹など動物繊維を好むほか、食べこぼしや汗などがついた衣類も栄養源となります。

しっかりと汚れを落とし、衣替えに備えましょう。



色褪せたトレーナー



5月の第2日曜日は母の日でしたね。

皆さんも、それぞれの形でお母さんへの想いを伝えられたことでしょうか。

普段は忘れてしまっていることも、母の日が近づくと、ふと思い出すこと・・・ありますよね。

今回は、ある男性の子供時代の思い出をお伝えします。

我が家は、とっても貧乏だったんです。運動会の日も授業参観の日さえも、お母さんは働きに行き、学校には来ることがなかったくらいの家庭でした。

そんな俺の15歳の誕生日のことです。

お母さんが嬉しそうな顔で俺にプレゼントを手渡してくれたんです。それは、ある有名なロゴのついたトレーナーだった。

俺は「ありがとう」と言いつつも、ちょっと派手で恥ずかしくて着られないな、と内心思っていた。

でも、その夜、俺は考えた。新しい洋服も買わず、たまに美容院へ行くのが最高の贅沢。手は年中カサカサで、化粧なんて当然していない。歯の治療をするお金さえない。

そんなお母さん。こんなトレーナーを買うくらいなら、もっと他のことに使えよ。



そんなことを考えながら、もう何年も見ていない昔のアルバムが急に見たくなった。

そこには、若い時のお母さんが写っている。えっ！これがお母さん？

俺は自分の目を疑った。だって、そこに写っているお母さんは全く別人のようだったから・・・

きちんと化粧をし、健康的な肌に白い歯をのぞかせて笑っているきれいなお母さんが、そこにいた。

俺は涙が止まらなくなった。

毎日毎日働きづめで、何の楽しみも望まずに、ただただ、この俺を育ててくれるために女を捨てたお母さん。

その夜、俺は誕生日のお祝いにもらったトレーナーを抱きしめて眠った。

そして思う。自分も早く学校を卒業して、一生懸命に働き、お母さんを楽にしてあげたい。だから、俺が一人前になるまでもう少し待っていてくれよな。

お母さん、本当にありがとう！



「編集後記」

このところ、TVや新聞などで連日報道されるのはロシア対ウクライナ戦。独裁者の目的もわからないまま、日々大切な命が失われています。哀しいことですね。

そんな中、今月15日に沖縄本土復帰50周年を迎えました。過去の悲劇を乗り越え、恵まれた美しい自然と共に伝統や文化を大切に育み、大きな発展を遂げましたが、基地問題等など今なお様々な問題が残されています。

それでも、沖縄の人たちが大切にしている命こそ何物にも代えがたい宝物という「命(ぬち)どう宝」という言葉。今こそ世界中に叫びたい気持ちです。

今月もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子